



# 創造

人の間と書いて「人間」と読みますが、私たち人間には成長していくうえで欠かせない「3つの間」があるそうです。「空間」と「時間」と「仲間」です。そこで、今回はこの「3つの間」をもとに、被災後の田浦中学校及び田浦小学校での子どもたちの様子を振り返ってみました。

○空間・・・両校の空き教室を提供していただいたことにより、安心して生活することができました。広さや照度といった室内環境も快適で、机の配置間隔も十分確保できました。「3密」を防ぐ観点から、互いの健康を守るために新しい生活スタイルを心がけながら過ごす子どもが増えてきました。

○時間・・・両校の日課と異なる佐敷小独自の時間を認めていただいたことにより、授業時数を確保でき、計画的に学習することができました。また、休み時間の過ごし方等においても他者に配慮した行動が随所に見られました。発達段階による学年差はありますが、声量に気をつけながら会話をしたり、静かに廊下を歩いたりなど少しずつ成長している姿が垣間見えました。

○仲間・・・両校のみなさんの姿に刺激を受け、自分もそうありたいという向上心を高めることができました。コロナ禍にあり、小体連行事や音楽発表会が中止になるなど対外的な活動が制限される中、仲間たちとの出会いによって協働力も育ちました。

両校で過ごした41日は、本校の子どもたちにとって記憶に残る貴重な日々だったことと思います。(下記の感想文参照) きっと、今後の大きな財産になることでしょう。私たち教職員も同じです。授業スタイルや教材・教具の使い方など学ぶべき点がたくさんあり大いに参考になりました。

私たちを広い心で受け入れ、学ぶ場を提供してくださった田浦中学校・田浦小学校の皆様にご心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



中学生の作品に見入る児童

おなかがいたくてトイレに行ったら、スリッパが一つしかなかったの、まっとうと思ったとき、中学生が「先にどうぞ」と言ってくれたのでうれしかったです。わたしもこんな中学生になりたいです。(小学3年生)



「みんなで元気よく遊んでいる姿」は田浦小の自慢の一つではないかと思いました。田浦小全員の元気や笑顔で私たちも「勇気」をもらいました。学んだこともたくさんあり良い勉強になりました。多くの人の支えがあったことを忘れず、「感謝」の気持ちでこれからも頑張ります。(小学6年生)



皆様の結束力に感謝



一昨日の作業には、PTAの皆様をはじめ、佐敷小OB・OGの皆様、ボランティアの皆様、管内の学校関係の皆様、行政当局の皆様など実に多くの方々の参加がありました。300名近い参加者数でした。皆様の熱い思いの結集により、予定より1時間以上も早く作業を終えることができました。人の思いが結集したときに発揮される力の大きさに感動せずにはいられませんでした。心より感謝申し上げます。今日から、新たな気持ちで子どもたちと佐敷小を創っていくこととお約束し、感謝の言葉といたします。

(移転作業プロジェクト チーフ 教頭 林 浩也)



## 各担任による学級紹介



いじめをしない、させない、許さない強い心を持ち、温かく励まし合い、学び合い、高め合えるクラスを目指しています。5年1組の良い点は、自らを振り返り、課題を客観的に把握できるところです。今後は、自分の意見に自信を持って積極的に発表し、「考動」できるように一人一人が心がけ、声を掛け合ってより良いクラスを創っていきます。来年、安心して佐敷小学校を任せてもらえるように、「心一つ」に頑張っていきます。 5年1組担任 平野 純子

4年2組は、人のためになることを積極的にできる働き者であふれるクラスです。友達が困っていると、誰かが駆けつけて助けてくれます。また、元気もよく、休み時間にはみんなの笑い声が教室に広がっています。今、挑戦していることは「メリハリのある考動」です。場面の状況を考えながら「クラスみんなのために」という思いで切り替えを早くしていきます。私自身も、子どもたちが「もっと学びたい」と思えるような授業づくりに挑戦していきます。これからもクラス全員でがんばります。

4年2組担任 坂本 大志

